

# ねらいについての議論をしよう3

## 高大連携歴史教育研究会 第2部会公開シンポジウム 2025年3月20日（祝・木）

13:00～17:30

日本大学文理学部（ハイブリッド開催）

文理学部キャンパス（下高井戸駅）

1. はじめに 歴史教育の刷新に向けた論点整理  
野々山新（愛知県立大府高等学校）、武井寛太（埼玉県立与野高等学校）
2. 歴史学と高校歴史教育における「私の授業理論」  
報告①佐藤克彦（千葉県立津田沼高等学校）  
：中世荘園の立荘を生徒はどう学んだか  
～歴史総合・日本史探究～  
報告②石川知行（茗溪学園中学校高等学校）  
：生徒はどのように教科書を批判的に読んだか  
～歴史総合・世界史探究～
3. 歴史学と大学歴史教育における「私の授業理論」  
報告③中村翼（京都教育大学教育学部）  
：一般教養科目「日本史」のねらいと実践
4. コメント  
社会科教育学の立場から 栗谷好子（群馬大学共同教育学部）  
歴史学の立場から 佐伯彩（八戸工業高等専門学校）
5. 質疑応答と相互批評  
会場とのねらいについての議論

2年前から始動した高大研第2部会授業理論WGでは、「目の前の生徒や学生に、なぜ、何のために歴史を教えるのか」と教科観を問い直し続ける重要性が確認される一方で、「歴史学と歴史教育がどのように協力できるのか」といった課題もまた明確化されてきた。この課題を深めることこそ、高大連携を目指す本研究会の次なるステップであると考え、今回のシンポジウムでは歴史学と歴史教育を架橋する実践者の報告を通して、歴史教育の刷新に向けた議論を前進させていきたい。

※高大連携歴史教育研究会の会員以外の方もご参加頂けます。

※参加を希望される方は下記URL・右QRコードよりお申し込み下さい（メ切3月13日）

<https://forms.gle/zKnpfmaRnK73qdJx8>

※参加申込者には、開催当日までに接続先の情報などを連絡致します。

※対面参加の場合にも、会場準備の都合がございますので、必ず事前にご登録ください。

